



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学結核研究所集談会記録
Description	
Citation	結核の研究, 14, 55-55
Issue Date	1961-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/26714
Type	departmental bulletin paper
File Information	14_P55.pdf



北海道大学結核研究所集談会記録

第56回 昭和34年1月6日

関川 勲：結核菌体アセトン可溶脂肪の構成々について。

文献：H. Noll et E. Jackim (J. Biol. Chem., 232, 903, 1958).

六原 達：遅延型皮膚過敏性の免疫学的考察。

文献：S. B. Salivin (J. Exp. Med., 107, 109, 1958).

第57回 昭和34年2月3日

山下慎子：細菌の自家呼吸について。

山本健一：INAHとPAS塩の抗結核作用について。

第58回 昭和34年3月3日

有馬 純：結核菌の毒力判定法についての試み。

柿本七郎：INAHの結核菌に対する発育阻止作用機構に関する学説。

文献：E. Krüger-Thiemer (Am. Rev. Tuberc., 77, 364, 1958), J. Yonaff (Am. Rev. Tuberc., 78, 806, 1958), I. H. Holmes et S. D. Rublo (Nature, 181, 1203, 1958), F. Winder (Am. Rev. Tuberc, 73, 779, 1956).

第59回 昭和34年4月28日

宮崎正澄：補体結合反応の補体について。

文献：E. L. Becker (J. Immunol., 82, 43, 1959).

高橋義夫：結核におけるアレルギーと免疫に関する新しい見方、考え方(第15回日本医学会総会シンポジウム主題47「結核における免疫とアレルギー」を司会して)。

第60回 昭和34年6月2日

森川和雄：結核菌体の免疫原性成分について。

文献：A. J. Crowle (Bact. Review, 22, 183, 1958).

西風 脩：寒冷に対する人体適正順応条件究明と尿係数。

第61回 昭和34年7月7日

安達 恵：結核菌磷脂質によるカオリン凝集反応の臨床的研究。

奥山春枝：可溶性抗原抗体複合体の生物学的活性。

文献：K. Ishizaka, T. Ishizaka, and D. H. Campbell (Proc. Soc. Exp. Biol. & Med., 97, 635, 1958; J. Exp. Med., 109, 127, 1959).

高橋義夫：第10回文部省結核研究所談話会報告(於九州, 福岡市, 九大)。

第62回 昭和34年9月8日

西江 純：抗結核剤 Elaiomycin について。

文献：C. L. Stevens et al. (J. Am. Chem-Soc., 80, 6088, 1958).

山下慎子：基質特異性の面からみた抗体産生と適応酵素生成について。

文献：S. W. Tanenbaum et al. (Proc. Nat. Acad. Science, U.S.A., 45-7, 922, 1959)

第63回 昭和34年10月6日

佐々木昭雄：結核菌体の磷脂質の分画。

六原 達：遅発型と即時型反応について。

第64回 昭和34年11月6日

山本健一：結核症の経過と結核菌の毒力。

文献：G. Meisner (Acta. Tuberc. Scand., 37, 5, 1959; Fortschr. Tuberk. Forsch., 7, 52, 1956).

関川 勲：Thiodiazole 誘導体。

第65回 昭和34年12月1日

宮崎正澄：補体結合反応の作用機作について。

文献：L. Levine, M. M. Mayer & H. J. Rapp (J. Immunol., 23, 435, 1954), H. J. Rapp (Science, 127, 234, 1958), K. Amirian, O. J. Plessia, G. Covalls & M. Heidelberger (Science, 127, 239, 1958), E. L. Becker & G. W. Wistz (Biochem. Biophys. Acta, 35, 291, 1959).

有馬 純：結核菌々体ワックスの免疫原性。

文献：A. Hoyt et al. (Am. Rev. Resp. Dis., 80, 216, 1959).